

やぶき



令和7年
207号

議会だより

令和7年5月1日発行
第446回 臨時会
第447回 定例会



□令和7年度当初予算	p 2
□令和6年度補正予算	p 3
□条例改正・予算の質疑・審査	p 4
□町政を問う（8人登壇）	p 6
□視察・研修	p15
□人事・広報モニターの声・編集後記	p16

認定こども園
ポプラの木入園式

令和7年度予算成立

一般会計79億58百万円

第447回3月定例会は、3月7日から3月18日までの12日間の会期で開催されました。

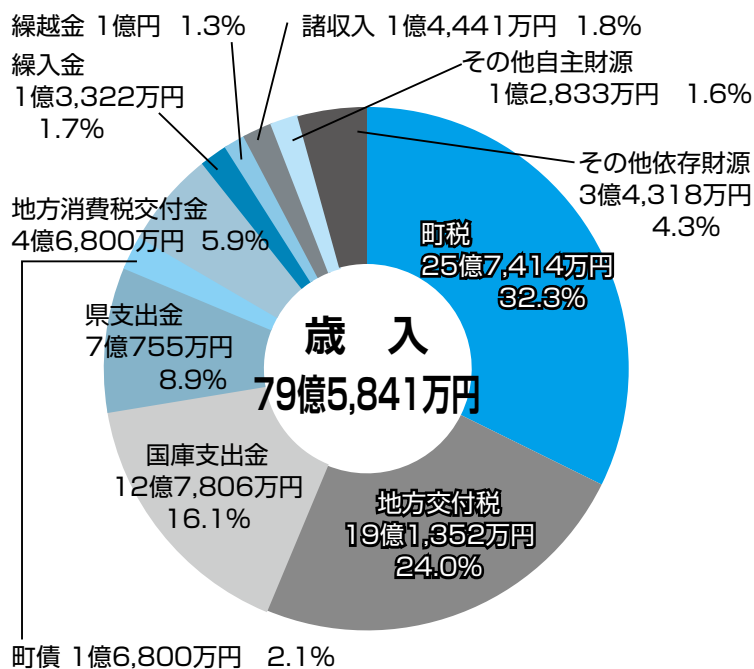
町長より提出された令和6年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、令和7年度一般会計予算等の21議案、陳情1件の他、追加議案として諮問1件、議案1件、議員発議1件を審議しました。10日と11日には一般質問

が行われ、8名の議員が登壇し町政を質しました。さらに、各常任委員会、第一・第二予算特別委員会に付託された議案、陳情等を審査しました。

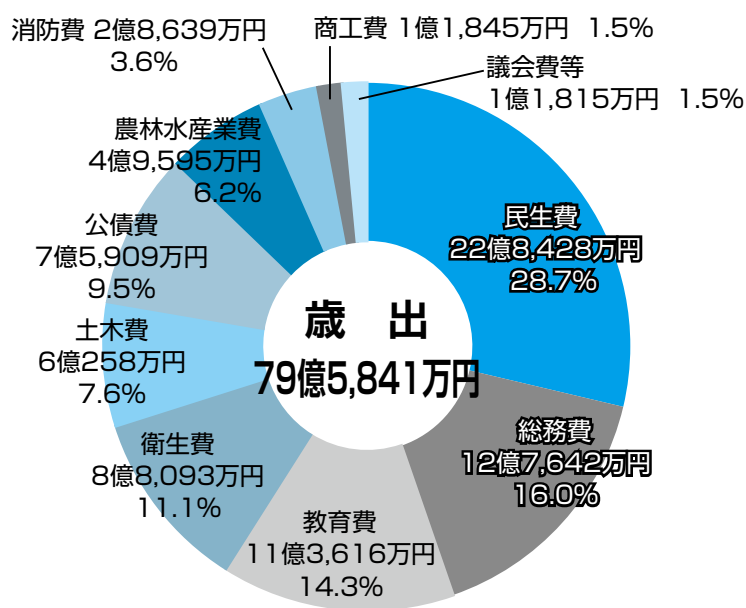
18日の本会議において、各常任委員会、各予算特別委員会の報告を受け審議した結果、全議案原案どおり可決決定され、人権擁護委員1名の推薦についても承認されました。

前年度比
3億8,400万円
4.6%減

一般会計歳入



一般会計歳出



特別会計

区分	令和7年度予算額	令和6年度予算額	増減率
国民健康保険特別会計	15億8,769万円	16億1,046万円	△1.4%
土地造成事業特別会計	37万円	37万円	0.0%
介護保険特別会計	16億5,739万円	16億3,254万円	1.5%
後期高齢者医療特別会計	2億2,880万円	2億1,906万円	4.4%

水道事業会計

	令和7年度	令和6年度	増減率
収益的収入	4億2,918万円	4億3,222万円	△0.7%
収益的支出	4億4,515万円	4億4,603万円	△0.2%
資本的収入	7,230万円	9,059万円	△20.2%
資本的支出	1億3,895万円	1億7,868万円	△22.2%

下水道事業会計 ※1

	令和7年度	令和6年度	増減率
収益的収入	5億7,563万円	6億4,323万円	△10.5%
収益的支出	5億8,393万円	6億495万円	△3.5%
資本的収入	4億3,322万円	3億3,471万円	29.4%
資本的支出	5億5,306万円	5億2,728万円	4.9%

※1 令和4年度より公営企業法適用に伴い公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計を統合

第7次まちづくり総合計画（前期基本計画） 重点方針予算内容（令和7年度）

- ・子育て支援事業 2,251万円
妊娠・出産・子育てに関する相談等について関係機関と連携しながら子育て世代を支援
- ・企業誘致促進事業 2,024万円
地域経済の発展及び雇用増加の繋がる企業誘致並びに既存企業の事業発展拡大支援
- ・公共交通推進事業 4,997万円
行き活きタクシー、「AI活用型オンデマンドバス」の運行
- ・遊水地整備事業 1,816万円
対象エリアの地元住民団体の組織化及び活動に対する支援
- ・国道4号4車線化整備事業 7万円
国道4号線の整備スケジュールに国道事務所との協議及び地域住民へ整備方針等の提示
- ・デジタル田園タウン構想事業 3,099万円
「デジタル田園タウン構想事業基本方針」に基づき計画的な事業展開の推進

第447回 定例会 補正予算

議案第12号 令和6年度矢吹町一般会計補正予算（第9号）

○一般会計補正額	1,230万円	◎予算総額	93億2,475万円
主な補正財源（歳入）		主な内容（歳出）	
・地方交付税	1億941万円	・減債基金原資積立金	2,900万円
・寄附金	1,030万円	・公共交通業務委託料	△1,539万円
・国庫支出金	△2,778万円	・ふるさと思いやり基金原資積立金	1,000万円
・県支出金	△1,008万円	・新型コロナウイルスワクチン接種委託料	△1,996万円
・財産収入	△3,262万円	・（仮称）スマートパーク設備工事	1,925万円
・繰入金	△1,962万円	・公有財産購入費	△1,837万円
・諸収入	△1,695万円		

（単位：千円）

会 計 区 分	補 正 額	補正後の額
議案第13号 介護保険補正予算（第3号）	793	1,704,315

（単位：千円）

会 計 区 分	補 正 額	補正後の額
議案第14号 水道事業会計補正予算（第2号）	収入	3,355
	支出	1,237
	補てん財源	0
議案第15号 下水道事業会計補正予算（第2号）	収入	1,367
	支出	8,035
	補てん財源	6,668
	収入	3,700
	支出	0
	補てん財源	△3,700

第446回 臨時会 補正予算

議案第1号 令和6年度矢吹町一般会計補正予算（第8号）

（令和7年2月14日）

○一般会計補正額	8,583万円	◎予算総額	93億1,245万円
主な補正財源（歳入）		主な内容（歳出）	
・国県支出金	8,583万円	・低所得者支援・不足額給付事業	8,583万円

総務教育 常任委員会

委員長 関根 貴将
副委員長 小島 紀子
委員 高久 美秋
富永 創造
鈴木 隆司
角田 秀明
藤井 源喜

議案第2号 矢吹町
放課後児童クラブの設
置及び運営に関する条
例の一部を改正する条
例

令和7年度における
善郷小学校の児童クラ
ブ申込者の増加を受
け、児童の健全育成に
支障をきたすことがな
いように、児童クラブ
専用施設内に新たな育
成室を確保し、受入定
員を増やすために、新
たに1クラス、定員40
人を加えるための条例
の一部改正

議案第3号 矢吹町
とり親家庭医療費の助
成に関する条例の一部
を改正する条例

令和6年6月12日に

「子ども・子育て支援
法等の一部を改正する
法律」が公布され、同
年11月1日より改正後
の「児童扶養手当法」
及び「児童扶養手当法
施行令」が施行された
ことに伴う「福島県ひ
とり親家庭医療費助成
事業補助金交付要綱」
の一部を改正する要綱
の公布を受け、関連す
る条例について、所要
の改正を行うための条
例改正

議案第6号 刑法等の
一部を改正する法律の
改正に伴う関係条例の
整理に関する条例

刑法等の一部を改正
する法律が令和7年6
月1日に施行され、自
由刑のうち懲役及び禁
錮が廃止され、拘禁刑
に一本化されることに
伴い「懲役」及び「禁
錮」の規定がある条例
の改正（検察庁協議
済）

議案第7号 行政手続
における特定の個人を
識別するための番号の

利用等に関する法律の
改正に伴う関係条例の
整理に関する条例

情報通信技術の活用
による行政手続等に係
る関係者の利便性向上
並びに行政運営の簡素
化及び効率化を図るた
めのデジタル社会形成
基本法等の一部を改正
する法律による、当該
法律の一部改正に伴
い、引用する条文を改
正する等の所要の改正
議案第8号 職員の勤
務時間、休暇等に関す
る条例等の一部を改正
する条例

令和6年人事院が
行った「公務員人事管
理に関する報告」を受
けて、仕事と生活の両
立支援制度の拡充をす
るため、令和7年4月
から育児休業及び介護
休業に関する法律が施
行されることに伴う、
関係条例の一部改正

審査の結果
全委員異議なく原案
の通り可決すべきもの
と決しました。

産業民生 常任委員会

委員長 三村 正一
副委員長 梅宮美和子
委員 芳賀 慎也
鈴木 浩一
青山 英樹
熊田 宏
堀井 成人

議案第4号 矢吹町敬
老祝金等支給条例の一
部を改正する条例

高齢化社会の進展に
伴い、高齢者福祉政策
全体の見直しを図る中
で、受給対象者の増加
により、祝金等に係る
支出が増加しているこ
とから、将来にわた
り、持続可能な形で祝
い金等の支給を行うた
め、支給額等の見直し
を行うための条例の一
部改正

議案第5号 矢吹町企
業立地促進条例の一部
を改正する条例

より一層の企業進出
を促すため、従来の奨
励措置の対象となる事
業施設等の業種へ農業

を追加するとともに各
奨励金の公布実績を鑑
み、所要の改正をおこ
なうための条例の一部
改正

議案第9号 権利の放
棄について

令和4年度矢吹町新
型コロナウイルス感染
症対策事業継続支援給
付金返還金について、
債務者は、当該給付金
に係る複数の詐欺行為
を行い、令和5年7月
に逮捕され、刑事事件
の裁判が現在行われて
いる。また、住所不定
であることから、財産
の差し押さえなどの債
権回収も著しく困難で
あり、今後の徴収が見
込めないため、地方自
治法第96条第1項第10
号の規定に基づき、債
権を放棄する。

議案第10号 権利の放
棄について

矢吹町町営住宅等条
例に基づく家賃につい
て、債務者の所在が不
明となっており、債権
の消滅時効期間を経過

しているため、債権回
収が著しく困難であ
り、今後の徴収が見込
めないことから、地方
自治法第96条第1項第
10号の規定に基づき、
債権を放棄する。

議案第11号 権利の放
棄について

矢吹町水道事業給水
条例に基づく水道料金
について、債務者の所
在が不明となっており、
債権の時効後、長年経
過していることや債務
者の破産等により、債
権回収が著しく困難で
あり、今後の徴収が見
込めないことから、地
方自治法第96条第1項
第10号の規定に基づき、
債権を放棄する。

陳情第1号 福島県最
低賃金の引き上げと早
期発効を求める意見書
提出の陳情について

審査の結果
全委員異議なく原案
の通り可決すべきもの
と決しました。陳情第
1号は、全委員異議な
く採択されました。

第一予算 特別委員会

委員長 熊田 宏
副委員長 高久 美秋
委員 梅宮美和子
芳賀 慎也
富永 創造
鈴木 隆司
堀井 成人

議案第13号 令和6年度矢吹町介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案第14号 令和6年度矢吹町水道事業会計補正予算（第2号）

議案第15号 令和6年度矢吹町下水道事業会計補正予算（第2号）



第一予算特別委員会

議案第16号 令和7年度矢吹町一般会計予算

主な質疑内容

《総務課》

高久 バス業務委託料とは何か。

答 コロナ禍が明け、町バスの運行が増えており、職員内で対応しきれない部分について運転業務を町内業者へ委託しております。

高久 ふるさと基金、企業版ふるさと納税基金の使い道は。

答 主な充当先として、公共交通推進事業、子ども医療費助成事業、予防接種事業、ごみ減量化推進事業、主要道路整備事業、公園管理事業となります。

《まちづくり推進課》

富永 防災士の育成に

答 今回予算計上が実現していませんが、地域の防災意識向上のためには、地域の若い方

がそういった資格を持つてリーダーシップを発揮していただくことは重要であります。

鈴木（隆） Aー活用型オンデマンドバスの

利用者を増やしていくアイデアはあるか。

答 老人クラブや社会福祉協議会での集まりやイベント時にのーとのチラシの配布や利用説明を行っていきたいと思います。

《都市整備課》

芳賀 若者定住促進事業助成金について具体的な内容は。

答 平均年齢が40歳未満の夫婦で矢吹町に住宅を新築する、または中古住宅を購入する方について審査をし、その一部を助成するものです。

審査の結果

全委員異議なく原案の通り可決すべきものと決しました。

第二予算 特別委員会

委員長 青山 英樹
副委員長 関根 貴将
委員 小島 紀子
鈴木 浩一
三村 正一
角田 秀明

議案第12号 令和6年度矢吹町一般会計補正予算（第9号）

討論

〔反対討論〕

三村 複合施設正面の駐車場を使ってスマートパーク整備が進められようとしているが、複合施設の駐車場が不足している状況が見受けられるため、当該場所での事業を進めることについて反対する。

〔賛成討論〕

関根 スマートパークに関しては今回のスポーツ・デジタル関連での補助金を有効に利用できること、また、スポーツ庁長官表彰の

受賞など、職員の力があって今回の事業に取り組めたものである。補助金を考慮すると、町の支出も少なくできることから賛成する。

〔反対討論〕

鈴木（浩） 複合施設正面に駐車場があるから便利で利用価値があったが、駐車場がなくなってしまうと4号線側の駐車場まで行かなければいけなく、高齢者にとって不便になってしまう。

〔賛成討論〕

角田 複合施設を整備した当ても駐車場が狭いという意見はあったが、今回、スポーツ・デジタル関連の補助金を活用してスマートパークを整備できることから賛成する。

議案第17号 令和7年度矢吹町国民健康保険特別会計予算

議案第18号 令和7年度矢吹町土地造成事業特別会計予算

議案第19号 令和7年度矢吹町介護保険特別会計予算



第二予算特別委員会

議案第20号 令和7年度矢吹町後期高齢者医療特別会計予算

議案第21号 令和7年度矢吹町水道事業会計予算

議案第22号 令和7年度矢吹町下水道事業会計予算

審査の結果

議案第12号については賛成多数により可決。その他の議案については全委員異議なく原案の通り可決すべきものと決しました。

第446回議会（2月）臨時会議案 賛否表

○は賛成、●は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

議案名	議長 可否	梅宮 美和子	小島 紀子	芳賀 慎也	関根 貴将	高久 美秋	鈴木 浩一	富永 創造	三村 正一	鈴木 隆司	青山 英樹	熊田 宏	角田 秀明	堀井 成人	藤井 源喜
報告 第1号 専決処分の報告について（専決第16号 損害賠償の額を定めることについて）	了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第1号 令和6年度矢吹町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

第447回議会（3月）定例会議案 賛否表

○は賛成、●は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

議案名	議長 可否	梅宮 美和子	小島 紀子	芳賀 慎也	関根 貴将	高久 美秋	鈴木 浩一	富永 創造	三村 正一	鈴木 隆司	青山 英樹	熊田 宏	角田 秀明	堀井 成人	藤井 源喜
議案 第2号 矢吹町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第3号 矢吹町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第4号 矢吹町敬老祝金等支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第5号 矢吹町企業立地促進条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第6号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第7号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第8号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第9号 権利の放棄について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第10号 権利の放棄について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第11号 権利の放棄について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第12号 令和6年度矢吹町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第13号 令和6年度矢吹町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第14号 令和6年度矢吹町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第15号 令和6年度矢吹町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第16号 令和7年度矢吹町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第17号 令和7年度矢吹町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第18号 令和7年度矢吹町土地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第19号 令和7年度矢吹町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第20号 令和7年度矢吹町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第21号 令和7年度矢吹町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第22号 令和7年度矢吹町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
諮問 第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第23号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議 第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

町政を問う ～一般質問～

8人登壇

3月定例会では8人の議員が登壇し一般質問を行いました。
次のページからは、要点をまとめて掲載しています。詳細はホームページでご覧になれます。

- ①梅宮 美和子 7ページ
 - 1. AI活用型オンデマンドバスの利用は
 - 2. 空き家対策について
- ②芳賀 慎也 8ページ
 - 1. 今後の地域公共交通の構築は
 - 2. 子育て支援の充実を図るためには
- ③小島 紀子 9ページ
 - 1. フロントティア祭りとは
 - 2. 防災意識を高めるには
- ④富永 創造 10ページ
 - 1. 当初予算の説明は
 - 2. (仮称)スマートパークのハード整備は
- ⑤堀井 成人 11ページ
 - 1. 行財政改革をどのように進めるのか
 - 2. スポーツ×デジタル振興プロジェクトの意義、効果は
- ⑥高久 美秋 12ページ
 - 1. 中畑小学校及び善郷小学校の維持管理は
 - 2. 三城目地区汚水処理事業について
- ⑦三村 正一 13ページ
 - 1. コミュニティバス等の実績と効果は
 - 2. 行財政改革の実施計画のない予算編成は
- ⑧青山 英樹 14ページ
 - 1. 羅針盤なく1年経過 財政シミュレーションはいつ
 - 2. 7年度予算 バス運行費と敬老会費に着目



AI活用型オンデマンドバスの利用は

答 多くの皆様のご利用を願う

問 オンデマンドバスを導入している他自治体と運行上の違いや、参考にした点、工夫した点について伺う。

答 町長 今までのコミュニティバスとは違い、のるーと矢吹の実証実験を開始しました。本町の取り組みの大きな特徴・違いとしては、高齢者等に限らず、町民、町民以外の

誰でも利用できること、町内全域を対象に、タクシーと同様に自宅玄関から目的地までドアtoドア方式で運行していることであります。本事業が健康寿命を延伸するための取り組みの基盤となる重要な施策であると考えております。

問 オンデマンドバスを休止した場合に想定される影響について伺う。

答 町長 高齢者や障がい者、免許返納者など公共交通を必要とする方々に移動手段が制限されます。本事業を休止した場合には、初期投資の補助金返還の恐れがあります。



のるーと矢吹バス

問 オンデマンドバスの高齢者の利用を促進するための取組について伺う。

答 町長 運行概要や利用方法については、町で開催しているスマホ教室や各地域の事業等に合わせ説明会を開催したほか、社会福祉協議会と連携し広報活動を行いより多くの高齢者に知っていただく取り組みをいたします。

空き家対策について

答 町民の皆様が安全安心に暮らせる
環境づくりに努める

問 これまで町が空き家に関して取り組んできた対策を伺う。

答 町長 これまで町では、平成31年3月に町内全域において、調査の結果、町内に存在する空き家は223棟、そのうち適切な管理がされておらず危険と判断された空き家は78棟あることが判明いたしました。全体の半数以上が、空き家となつてから5年以上が経過しております。空き家の維持管理を促すため広報やぶきや町ホームページにおいて周知を行ったほか、隣近所や、地域の方から危険性が高まっているなどの通報を受けた場合には職員が現状を確認し、維持管理を促す呼びかけや通知を行つてまいりました。また、空き家の利活用の推進を図る対策として空き家を売りたい、または貸したい方との

マッチングを行う空き家バンク制度を令和5年2月1日より開始し、これまで4軒のマッチングに成功し、空き家の活用を進めております。空き家対策を引き続き、行政区長及び地域住民と連携し、情報共有を図りながら空き家の利活用に努めてまいります。

問 空き家に対してどのような対策を考えているのか伺う。

答 町長 地域住民、関係機関と連携を強化し空き家に関する対策を総合的かつ計画的に行います。



今後の地域公共交通の構築は

〔答〕充実強化に取り組む



一般質問の動画
をご覧ください
ます。



は が しん や
芳賀 慎也 議員

問 A-1活用型オンデマンドバスの必要性について伺う。

答 町長 運転免許を返納する高齢者が増えている現状において、移動手段を確保するためには公共交通の充実が不可欠であり、特に、通院や買い物などの日常的な移動ができないことは、高齢者の生活に大きな影響を及ぼすため、効率的で利便性の高い移動手段の提供が求められています。

問 今後、A-1活用型オンデマンドバスの運行について、利用幅（利用対象者、対象地域等）を含め、充実していく考えはあるか。

答 町長 今後さらに利便性を向上させるため、矢吹町地域公共交通計画に基づき、利用拡充の検討を進めています。具体的には、他市町村へのアクセス向上に資する広域的な移

町政を問う（一般質問）

子育て支援の充実を図るためには

〔答〕子供を真ん中に据えたまちづくりを推進

問 令和7年度、子育て支援として力を入れて行く施策は。

答 教育長 令和7年4月から、こども家庭センターの事務室を、乳幼児の検診会場として利用している保健福祉センターへ移転します。これにより検診に合せて子育てや家庭の悩みを相談できる環境が整いますので、さらに子育て世帯の思いに寄り添った支援体制の充実が図れるものと考えております。

次に、こどもまんなか宣言4つの方針に基づき、矢吹町こどもまんなかアクションへの取組を進めてまいります。併せて、いつでも、どこでも、何度でも、医療相談ができる医療相談アプリ「いつ

でもドクター」を導入し、子供の健やかな成長を社会全体で支えるまちづくりを推進していきます。

また、幼稚園、保育園の副食費、おかず代の助成及び小中学校での給食費半額補助や、3歳未満の第3子の保育園保育料の無償化等、町独自の子育て世帯への経済的負担軽減事業を継続してまいります。

子供の声、子育て世帯の声を大切に、一人一人の子供に寄り添った施策を考え、実行していきます。

問 子供たちの急な病気やケガについて365日24時間体制で医師に相談が可能であるスマートフォンアプリ「いつでもドクター」の登録者数を増やしていく必要があるが町の考えは。

答 子育て支援課長 登録の世帯を増やすため、妊娠届を出された時にアプリへの登録の案内を差し上げております。また、小学校、中学校へもチラシを配布し登録の増加を図ってまいります。



矢吹町
こどもまんなか宣言



のるーと矢吹バス

動の結節点、結びつなげるポイントへの停留所の追加、通院の利便性を高めるために、町外の医療機関についても停留所の設置を検討しています。次にスマートフォンを持たない高齢者や観光客等のために矢吹駅や複合施設ココットなどに予約専用の端末の設置、キャッシュレス決済の導入の検討、また、将来を担う子供たちやその保護者への支援として、スクールバスとの併用やスポーツ少年団、クラブ活動、習い事や学習塾の送迎時の利用等への拡充も検討してまいります。

フロンティア祭りと太鼓まつりの

予算削減理由は

〔答〕限られた財源を効率的に活用するため

〔問〕矢吹町の一大イベントである令和7年度やぶきフロンティア祭りは予算70%カット、やぶき太鼓まつりは全額カットで中止となった。その理由を伺う。

〔答〕町長 本町では、これまで東日本大震災に係る復興財源や新型コロナウイルス感染症対策交付金など、国や県の有利な財源を活用して様々な事業を展開してきましたが、災害等が収束する中で、こ

れらの財源は年々縮小傾向にあります。また、労務単価の上昇や物価高騰などの影響で歳出予算の増加が予想される一方で、これらの上昇分に見合った地方交付税の確保がされるかは不透明であり、今後は厳しい財政運営が続くものと見込んでおります。限られた財源を、効率的・効果的に活用するため、事業の縮小や統合が可能かどうか検討してまいりました。

〔問〕令和7年度のフロンティア祭りの規模と内容について伺う。

〔答〕町長 令和6年度と同規模のイベントが開催できるよう、福島県の補助事業の活用に向けて申請を行っており、申請内容は異文化交流イベントとして、

食・伝統・音楽それぞれの文化交流等となります。令和7年度はやぶき太鼓まつりは、単独開催は見送りますが、フロンティア祭りでの演奏や外国人との文化交流として和太鼓に触れる機会を検討しています。

〔問〕このような財政状況はいつまで続くのか、見通しを伺う。

〔答〕町長 今後も行財政運営に関し難しいかじ取りを迫られる状況が続くものと考えますが、行政評価に基づく事務事業の見直し等による歳出の削減や、ふるさと納税の強化、公共施設の使用料見直し等による自主財源の確保に努め、持続可能な財政基盤の確保に取り組んでまいります。

防災意識を高めるには

〔答〕若者に防災活動への参加を促す

環境づくりに努める

〔問〕矢吹町には昨年、中学3年生で防災士の資格を取得した学生がいる。このような若者を核として、より進んだ防災地域になるよう協力してもらう考えはあるかお尋ねする。

〔答〕町長 防災士は、NPO法人日本防災士機構が認定する民間資格で、地域住民へ防災教育を行い、災害発生時に避難所運営などのボランティア活動に当たることが主な役割です。地域防災リーダー育成のため、令和5年度に矢吹町防災士資格取得助成金制度を設け、これまで2名の方が取得されました。若い方の地域防災への参加は、柔軟な発想やデジタル技術を駆使して地域防災活動に貢献できる大きな可能性があると考え、参加を促す環境づくりに努めていきます。

〔問〕日本損害保険協会などが開催している小学生対象の「ぼうさい探検マップコンクール」がある。矢吹町も以前は防災意識が高まっていたと思う。風化を防ぐためにも、そういうコンクールに参加したらいかがかと考える。そのような予定はあるかお聞きする。

〔答〕まちづくり推進課 現在取組みはしていませんが、今後関係機関と協議して検討していきたいと思っております。

〔問〕外国人の防災意識を高める方法をお尋ねする。

〔答〕町長 今年2月末、町内在住外国人登録者数は、340名に上ることから、町内在住の外国人に対する防災意識の向上に向けた取り組みは非常に重要と考えます。外国人の多くは技能実習生として町内企業に勤めていることから、各企業へ防災訓練への参加などを依頼することも必要と考えます。

〔問〕実際に外国人が参加した例はあるのか。

〔答〕まちづくり推進課 長 特に外国人に絞った参加呼びかけはしたことはありませんが、企業と相談して、やるように検討します。



こじま のりこ
小島 紀子 議員



一般質問の動画
をご覧ください。

当初予算の説明は

〔答〕 区長会総会等で説明する



一般質問の動画を
ご覧いただけます。



とみなが 富永 創造 議員

〔問〕 令和7年度当初予算に対する町長の見解を町民に説明する考えはあるか。

〔答〕 町長 東日本大震災以降、大きく膨らんだ本町の財政規模を、適正な規模に戻す有事故から平時への転換予算です。

事業見直しにより歳出の抑制に努め、町民の行政サービスを持続する予算編成になつていきます。

財政状況が悪いということは全くありません。地方債残高は計画的に減少、財政の判断指標も健全段階にあります。

町民への説明については、区長会総会等で説明します。

〔問〕 有事から平時の転換が、なぜ厳しい行財政運営となるのか。

〔答〕 町長 大震災やコロナ対応による有事故中で職員を増やし様々な事業を実施、財政規

町政を問う（一般質問）

（仮称）スマートパークのハード整備は

〔答〕 令和7年度にクラブハウスを整備

ぶハウスを、その後駐車場、芝生広場等を整備します。矢吹スポーツクラブやスポーツ協会とクラブハウスに必要な備品や部屋のつくりなどを検討します。

〔問〕 スポーツ×デジタル振興プロジェクトを通して、子どもたちの体力・運動能力の向上をどのように進めるのか。

〔答〕 教育長 一人一人の体力、運動能力をデジタルにより可視化し、一人一人にあった体力づくり、健康増進や運動の楽しさを感じることができる取り組みをします。

〔問〕 クラブハウスなどのハード整備進捗状況からの今後の計画を伺う。

〔答〕 教育長 スポーツ×デジタル振興プロジェクトの拠点として、令和7年度にクラ

〔問〕 子供たちがクラブハウスを利用したくなるイメージ言語「コンセプト」を新たに採用する考えはあるか。

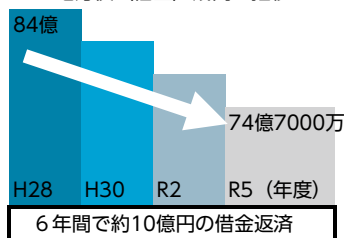
〔答〕 教育長 住民や利用される方々に愛される施設となるよう、公募やワークショップによる意見の集約などに



（仮称）スマートパーク整備イメージ

その他の質問事項
・利益を求めない一般社団法人への町税課税の軽減はできないか。

地方債（借金）残高の推移



行財政改革を

どのように進めるのか

答 知恵と工夫により

財政基盤の強化に取り組む

問 当初予算編成と行財政改革の方向性について伺う。

答 町長 当初予算の作業については、物価高騰等の影響により厳しい作業を予想し、期間を早めに着手しまして、職員説明会を開催し、歳出予算の削減を全職員で共通認識を図ったところであります。

問 第七次矢吹町行財政改革大綱が示されたが、今後どのような方向性で、行財政改革を進めていくのか伺う。

答 町長 令和七年度は財政調整基金から繰出しは一切行わない予算編成を実施しました。職員一人一人が知恵と工夫を出し合うことで、町民の安全安心を最優先し行政サービスは守りながらも、新たな

平時に対応するための予算案ができました。

問 土日祝日の役場の警備業務を職員が交代で実施することだが、休みは取れるのか伺う。

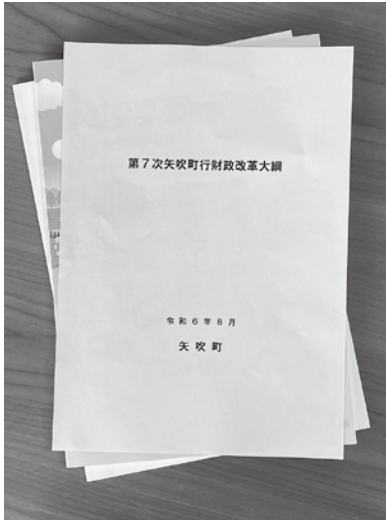
答 総務課長 体をしっかり休めるよう平日を休日と振り替える振替休日での対応を予定しております。



一般質問の動画をご覧ください。



堀井 議員



第7次矢吹町行財政改革大綱

町政を問う（一般質問）

スポーツ×デジタル振興プロジェクトの意義、効果は

答 全世代に最適な健康増進プログラムの提供等

問 スポーツ×デジタル振興プロジェクトの取り組みを伺う。

答 教育長 幼稚園児や小学生を対象に子供の走る力、投げる力、握力などスポーツを通じて体力運動能力低下の課題を解決し、中学生高校生を対象に、トレーナーの指導により競技力を向上し、成人以上を対象に体の機能を改善するプログラムを実施し、心も体も健康にし、医療費削減にも寄与することを目的としたソフト事業を行ってきました。

問 プロジェクトの意義、将来の展望について尋ねる。

答 教育長 全世代への一人一人に最適な健康増進、スポーツを軸にした町全体の運動コミュニティづくり、子供たちの基礎体力作りの三つを柱に上げました。

問 プロジェクトの今後の課題について伺う。

答 教育長 これまでは、矢吹スポーツクラブが培ってきましたが、現在の運営管理と指導の両方を一名が兼任しており、人材不足が否めない状況です。これらの課題に対し、地域おこし協力隊制度を活用し、財政面ではスポーツ庁の補助事業での交付金を活用したいと思っています。



イベントの実施（BONDS CUP 3×3 BASKET BALL）

中畑小学校及び 善郷小学校の維持管理は

〔答〕 安全性は、確保されている



一般質問の動画を
ご覧いただけます。



たか 高久 議員
よしあき 美秋

問 中畑小学校北校舎に雨漏り箇所があるが、このままか。

答 教育振興課長 階段踊り場にあるガラスブロックのシーリング処理、目地詰めなどの対応を図ります。

問 中畑小学校北校舎は築54年を迎えており、壁のひび割れや階段滑り止めのガムテープ補修、天井の劣化などが目立つが、健康と安全に対してこの状況をどう考えるか。

答 教育振興課長 危険箇所や不具合箇所の把握に努めており安全は確保されております。

問 中畑小学校北校舎は54年間外装補修をしておらず、ベランダのサビが進行し、安全確保の観点から危険である。また、善郷小学校では、トイレの引き戸がない。

それらは適切な維持管理と言えるか伺う。

町政を問う（一般質問）

三城目地区汚水処理事業について

〔答〕 住民の方は、理解したと認識している

問 三城目農業集落排水の長寿命化が終了して、あと24年使える。その後、公共下水道が集落排水かの選択という考えはないのか。

答 上下水道課長 2町（矢吹町・鏡石町）で公共下水道に編入することは、またとない契機として整備を進めています。25年後改めての整備だと成田経由の接続は困難と考えます。

問 長寿命化工事を終えたばかりの農業集落排水をやめて、公共下水道に編入した後、県中間線や県中浄化槽センターなどの大規模工事などで、料金が上がっていくことを心配しているが、どう考えるか。

答 上下水道課長 公共下水道と農業集落排水の料金体系に関して、公平な説明だったと思うか。

問 上下水道課長 公共下水道、農業集落排水に関わらず下水道の値上げなどの検討も併せて、十分に考えられます。

問 3世帯で2ヶ月間で水道水を40立方メートル使用した場合の比較説明を行っているが、家族が4人、5人に増えた場合、農業集落排水の方が安くなると思うが、いかがか。

答 上下水道課長 これから固定額制から水道水の使用量に応じた変動制になります。場合によっては増える世帯もあります。

問 公共下水道と農業集落排水の料金体系に関して、公平な説明だったと思うか。

答 上下水道課長 2月の説明会で使用水量



三城目農業集落排水

については、農業集落排水の使用料よりも高額になる世帯も場合によってはあると説明しています。住民の方は、概ねご理解したと認識しています。

コミュニティバス等の実績と効果は

〔答〕 住民ニーズを把握し、次の施策に発展できた

問 コミュニティバスの実証実験、行き活きたクシー、ＡＩデマンドバス事業の実績と効果を尋ねる。

答 町長 令和６年度行き活きたクシーについては、利用件数５９８２件、１日平均１９件、コミュニティバスは１２月末で２１４２名、１日平均１３名、ＡＩデマンドバスは１月１５日から２月末で３５４名、１日平均１１名となっています。その効果として事業等の課題、意見要望集約による住民

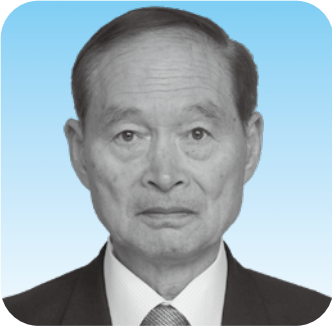
■地域公共交通事業実績等（利用者、事業費等）

	日数	利用者（人）	平均（人／日）	事業費（万円）	補助金
行き活きたクシー					
令和４年度	365	4,748	13	397	
令和５年度	366	5,929	16	456	
令和６年度１月末迄	306	5,982	19	492	
合 計	1,037	16,659	16	1,345	
コミュニティバス					
令和４年度	67	680	10	515	
令和５年度	205	2,175	11	1,451	県補助 291万
令和６年度１２月迄	156	2,142	13	1,411	県補助 285万
合 計	428	4,997	11	3,520	
ＡＩデマンドバス					
令和６年度予算	51			2,756	50% 国補助
1/15～2/28	33	354	11		

ニーズを把握できました。



一般質問の動画をご覧いただけます。



みむら まさいち 議員 三村 正一

問 太田市や喜多方市と比べて、バス一台の運行費用に３倍の差がある。行財政改革の中で、国県の補助がなくなった時、この事業の継続をどうするのか。

答 町長 来年度以降も、国県の補助金を活用し、財源の確保と費用圧縮を図り持続可能となるように努めます。

問 矢吹町には、タク

シーの台数が少ないのではないかと、増車要請はできないのか。

答 まちづくり推進課 民間企業のことでもあり、行政側で何かということはありません。

問 １月からの利用状況をみると２台でなく１台でも充分サービスが可能でないか。

答 まちづくり推進課 長 行きたい時にすぐ移動できるよう２台用意しております。

行財政改革の実施計画のない予算編成は

〔答〕 鋭意作成中で、お示しできる段階ではない

問 昨年の９月議会、財政改革の実行計画について、現在は策定中であり、理念や重点事項を反映させた取組を具体的に記載する、評価を示して年度毎に進捗管理を行うとの答弁だが、実施計画を示して予算説明をすべきではないか。

答 町長 実施計画については、鋭意作成中であり、お示しできる段階ではありません。

問 ７年度の基準は、財政調整基金からの繰入れを行わない予算編成を目指しました。

問 実施計画の必要性を認識していながら、作成中とは、何か問題が障害があるのか。

答 総務課長 業務が回っていない部分があり、より実行性のある計画をと内容を吟味しているため時間を要しています。

問 会計年度任用職員の削減について尋ねる。

答 町長 有事から新

たな平時に対応した組織運営を図る為、事務補助員２４名を減らし、約六千三百万円の予算削減をしました。削減により住民サービスが低下しないよう努めます。

問 ８年度以降も、検討しながら取組むのか。

答 総務課長 現段階で削減する考えは無いです。

問 スマートパークについて、駐車場が狭いのではないかと。また、現在でも、コソット利用者の利便性があるので、場所の変更をして欲しいとの要望があるが考えを伺う。

答 教育長 クラブハウスの建設場所は、複合施設コソットの駐車場に建設予定しています。残地を共用駐車場として運用します。

その他の質問事項
・健康センターの運営について

羅針盤なく1年経過 財政シミュレーションはいつ



一般質問の動画を
ご覧いただけます。



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

〔答〕 財政計画を策定中

問 歳入歳出の見直しについて、令和7年度に行財政改革推進に特化した組織強化を図る予定とのことだが、具体的にどのようなことをするのか。

答 総務課長 歳出の改革として一つ目は委託事業の見直し、直営との比較検討。二つ目にエビデンスに基づく施策事業の見直し。三つ目としてDXの推進による行政事務の効率化を行います。

歳入改革では一つ目として普通財産の売却、二つ目は公共施設の適正な維持管理と町民サービスの維持向上のための使用料・手数料の見直し、三つ目としてふるさと納税、商

※経常経費充当一般財源とは
経常的な経費に充当された一般財源のことで、人件費（職員の給料など）、扶助費（生活保護費など）、公債費など毎年常に支出しなければならぬ経費。

町政を問う（一般質問）

7年度予算 バス運行費と敬老会費に着目

〔答〕 質を落とさずしっかりとやっていきたい

問 令和7年度当初予算に関してはかなり縮減財政となっている。

※義務的経費である

※扶助費の削減は住民サービスの低下等にならないかとの不安もある。敬老会関係では敬老祝い金が二百万円減らされ、長寿祝金も二

百万円ほど減額となっている。そこまで経費削減しなければならなかったのか。

答 総務課長 高齢者の方にもっともって頑張っているという中で、祝い品と祝い金の両方を差し上げており、かなり手厚く税金の原資を振り向けています。今回、事業の見直しを行い予算規模は縮小されていますが、質を落

※義務的経費とは
人件費、扶助費、公債費の3つで構成されている。

※扶助費とは

生活保護や児童手当、各種扶助費など、生活困窮者や児童、障害者などを援助するために要する経費。

※義務的経費の性格
義務的経費は、任意に削減できない硬直性が強い経費。

とさず敬老会という祝い事はしっかりとやっていきます。

問 A型オンデマンドバス運行（1月中旬～3月運行）ではバス1台当たり1日で27万円もの経費であり、利用者わずか11名余しかいないことは、コストがかかりすぎとの町民の声が多いが、いかがか。

答 町長 足をとにかく確保しないとフレイル化してお年寄りがどんどん弱ってしまいます。要支援、要介護になった場合、本人も家族も、地域も、町としても様々な困難を伴います。まずは足を提供し、コストパフォーマンスについてはしっかりと吟味していきます。

太田市の地域公共交通の

取り組み状況

産業民生常任委員会視察研修



太田市議場

令和7年1月30日群馬県太田市を訪問、地域公共交通や経済活性化の取り組み状況について調査研修をしてきました。

地域公共交通では、市内在住、歩行以外の手段を持たない外出困難な70歳以上の高齢者の買い物支援する「おうかがい市バス」、公用車でボランティアとともに支援する買い物困難高齢者支援事業「お買い物クラブ」があり、経済の活性化では太田市デジタル金券（otaco）カードを活用することで、市内経済の活性化を図っているとのことでした。

この研修の成果を踏まえ今後の町政に寄与したいです。

涌谷町財政再建について

議会運営委員会視察研修

平成31年1月30日に「財政非常事態宣言」を発令した宮城県涌谷町わくやちょうのその後5年間にわたる財政健全化の取組みと評価の調査を目的に、令和7年2月12日に研修を行いました。取組みの効果額として、11・6億円余り、財政調整基金は6億円から15億円に回復、財政指標が改善したとの報告でした。評価として宣言発令は良かったとする反面、企業誘致、移住者、職員採用に多大なマイナスのイメージがあったとする評価がありました。

本町において財政健全化で、もし宣言発令を検討する場合には、熟慮を重ねた十分な説明と慎重さが必要であると考えさせられた研修でした。



涌谷町議場

人事・視察・研修

ようこそ 矢吹町へ

山形県村山市議会会派「市政・公明クラブ」視察訪問

令和7年1月29日に来訪され、矢吹町屋内外運動場「未来くるやぶき」の施設利用状況や町への相乗効果等の質疑・意見交換が行われました。



未来くるやぶき

人事

人権擁護委員



さくま きんいち 氏

新任（三城目）

任期 令和7年7月1日から3年間

アンケートにご協力ください

議会だよりに対する
ご意見・ご感想をお寄
せください。



訂正とお詫び

前号206号4ページの委員の名前に誤記がありました。訂正してお詫びいたします。

誤：堀井茂人氏
正：堀井成人氏

広報モニターの声

(206号議会だよりから)

表紙

- ・積極的に手をあげて質問しようとする姿すばらしい。
- ・子供たちの真剣な表情とても印象的でした。

12月定例会あらまし

- ・「政務活動費」にふれていて、町の財源が意識できる。
- ・政務活動費交付の廃止は残念です。研究、研修に役立ててほしかった。

一般質問

- ・質問と答弁がかみ合っているのか。
- ・町をより良くしようとする議員さんの想いが伝わってきます。

全体評価	A	B	C	D	E
ポイント	10	10	7	—	—

子ども議会

- ・視点や意見に関心、子供たちが頼もしい。
- ・子どもたちはこの記事に関心を抱くだろうか。

二十歳を祝う集い・編集後記

- ・議員さんの町民に寄せる想いが感じられます。
- ・笑顔の写真素敵です。

自由記入

- ・町に住むベトナム人やインド人と共有できるイベントやお祭りが増え、盛り上がるのでは。
- ・議会だよりを見るより議会で聴いた方が分かり易い。

次回6月議会のご案内

開 会 6月6日(金) 午前10時
一般質問 6月9日(月)・10日(火)
午前10時予定

過去の会議録の検索は
家に居て議会が聴ける
QRコード



動画配信中

●3月議会の傍聴者は計39人でした。ありがとうございました。

編集後記

寒さの残る中にも、春の訪れを感じる今日この頃、皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。4月に入りましたが、肌寒い日が続いておりますので、どうぞご自愛ください。

おかげさまで、議員2期目がスタートして1年が過ぎ、広報委員としても6年目を迎えました。議会の審議をしっかりと伝えられるよう、これからも一層励んでまいります。引き続き温かいご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(文責 高久 美秋)

議会広報編集委員会



委員長 富永 創造
副委員長 梅宮美和子
委員 小島 紀子

委員 芳賀 慎也
委員 高久 美秋
委員 鈴木 浩一